

平成30年度 学校評価 学校集計表(まとめ)

教職員

保護者

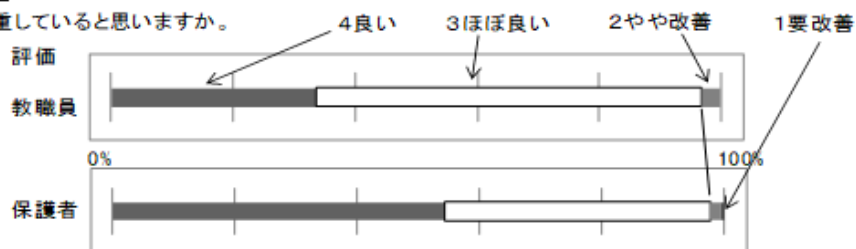
職員数	97人	保護者数	144人
回答数	97人	回答数	130人
回収率	100%	回収率	90.3%

評価基準 4. 良い 3. ほぼ良い 2. やや改善 1. 要改善

① 児童生徒を真ん中に置き、人格・主体性を尊重していると思いますか。

評価	%
4	33.7
3	63.3
2	3.1
1	0

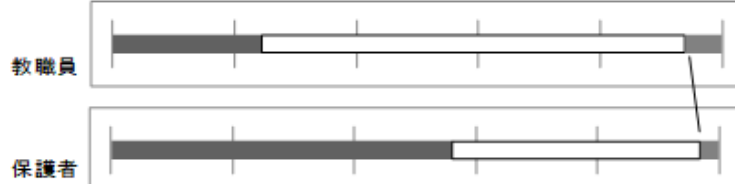
評価	%
4	54.3
3	43.4
2	1.6
1	0.8



② 個別の指導計画を見直し、一人一人に応じた支援が行われていると思いますか。

評価	%
4	24.5
3	69.4
2	6.1
1	0

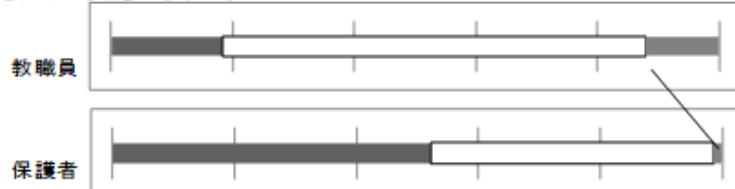
評価	%
4	56.2
3	40.8
2	3.1
1	0



③ 社会参加と自立に向けたキャリア教育が推進されていると思いますか。

評価	%
4	18.4
3	69.4
2	12.2
1	0

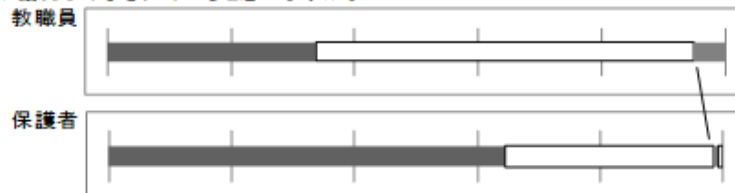
評価	%
4	52.3
3	46.2
2	1.5
1	0



④ 学級担任を中心としたいじめのない学級経営が協力してなされていると思いますか。

評価	%
4	33.7
3	61.2
2	5.1
1	0

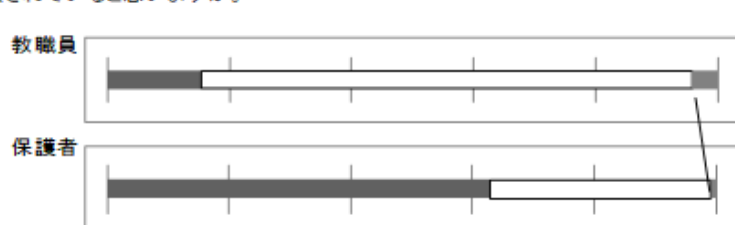
評価	%
4	64.6
3	33.8
2	0.8
1	0.8



⑤ 児童生徒や保護者、地域、関係機関から信頼されていると思いますか。

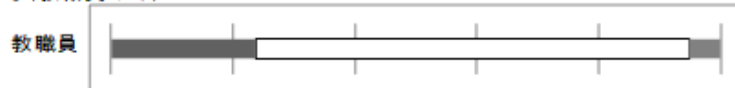
評価	%
4	15.3
3	80.6
2	4.1
1	0

評価	%
4	62.8
3	36.4
2	0.8
1	0



⑥ センター的機能が発揮されていると思いますか。(教職員のみ)

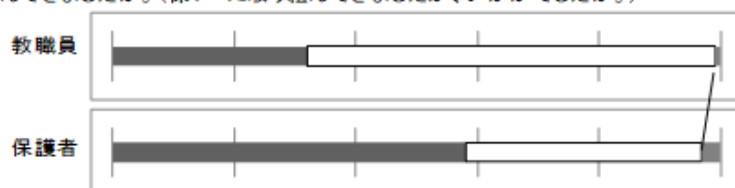
評価	%
4	23.7
3	71.1
2	5.2
1	0



a 個々の発達段階や年齢に応じた支援に取り組んできましたか。(保：～に取り組んできましたが、いかがでしたか。)

評価	%
4	32
3	67
2	1
1	0

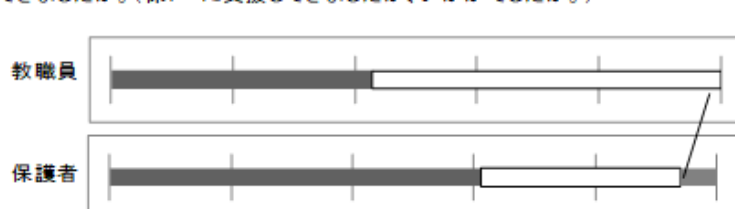
評価	%
4	58.1
3	38.8
2	3.1
1	0



b 児童生徒のサインや意思表示を大切に支援してきましたか。(保：～に支援してきましたが、いかがでしたか。)

評価	%
4	42.9
3	57.1
2	0
1	0

評価	%
4	61.2
3	32.8
2	6
1	0

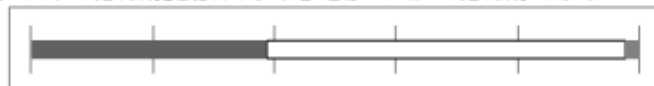


c 「えがお(個別の指導計画)」の期待する姿、手立て、成果や課題は明確で分かりやすい内容、表現を目指しましたか。(寄:連絡ノート 保:～内容、表現でしたか。)

教職員	
評価	%
4	38.7
3	59.1
2	2.2
1	0

保護者	
評価	%
4	66.2
3	33.8
2	0
1	0

教職員



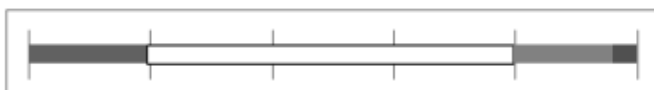
保護者



e 一部の教師に負担をかけることなく、チームなどの体制を整え、組織として課題に取り組むことができるようになりましたか。

教職員	
評価	%
4	19.4
3	60.2
2	16.3
1	4.1

教職員



d 医療や福祉等の関係機関等と連携を十分に図ってきましたが、いかがでしたか。(保護者のみ)

保護者	
評価	%
4	46.2
3	52.3
2	0.8
1	0.8

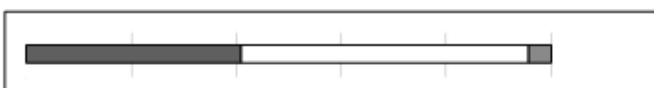
保護者



f 学部(寄宿舍)経営、学校経営に積極的に参加しましたか。(教職員のみ)

評価	%
4	41
3	54.9
2	4.1
1	0

教員



学校評価（教員）

小学部

- ・学校全体や学部全体に関わる仕事を優先すると、自分のクラスの授業準備が後回しになり、勤務時間内に十分な時間を確保できないことがありました。
- ・分掌部の仕事を一部の負担が大きくなるように分担してきましたが、まだ不十分だと感じています。
- ・分担して仕事をするようにしたので一部教師に負担がかかるようにはならなかったと思いますが、単元担当等になると負担を感じる方もいたのかもしれない。

中学部

- ・進路学習が課題です。
- ・力のある生徒がいるなかで、挨拶や社会人として必要なこと等支援が不十分な気がします。伸ばせることを伸ばせていないことが残念です。
- ・業務量が多くて、日常的に残業している。
- ・誰でもクラスに支援に入ったとき、対応しやすい体制については課題かと思います。
- ・担当者が抱え込んでいる。
- ・高等部の教育課程が一部の生徒にあっていない。

高等部

- ・教師が生徒をばかにするような言動がある。それで生徒も同じように友達をばかにする言動があるのではないか。
- ・一人一人の指導計画を十分に把握しきれてない部分があると思う。（把握不足があるので再度確認する。）
- ・キャリア教育について共通理解されていない。全体として取り組まれているかと聞かれればされていないと感じる。
- ・えがお（学習の記録）が分かりにくかったかもしれない。
- ・教材研究の時間をうまくやりくりして確保したい。
- ・担当教師に負担が多く、もっとチームでサポートやカバーができればよいと思っている。
- ・高等部は学年会や作業班会の他、実習、生徒指導のことなど打合せが多く、なかなか時間はとれない。しかし、えがおや学習の記録の改善等により昨年度よりよくなっている。
- ・公開研の準備に多くの時間を要した。公開研の対象授業のため空きの時間も取れず、夜や休日にするしかありませんでした。
- ・e が改善されれば確保できると思われる。
- ・一部の先生に負担がかかることがあったように思うので分担をしっかりとりたい。
- ・担当や担任という枠組みを超えて取り組めたらもっとよい職場になると思います。（手が空いているときには手伝う等、仕事を割り振る等）
- ・経験年数を積んだり失敗して学んだりしてわかっていくのかもしれませんが、特に若い方頼みたら断れない性格の方など、表に出さずご苦労なさっているかもしれません。苦しいときに助け合える時間や心のゆとりを持ちたいです。
- ・業務見直しにより、働き方改革が進むと共に、授業改善や行事推進に全体で取り組む意識が出てきているように感じます。
- ・いろいろな面で TT がうまく機能しない。相談したり分担したりしてもうまくいかないことがよくある。どのような手だてをとったらよいか分からない。

ご意見（保護者）

お褒めの言葉

- ・日々お世話になりありがとうございます。娘の様子を気に掛けてくださり細やかな御配慮あたたかな励ましなどをいただくおかげで、有意義な学校生活を過ごしています。親としても感謝の思いでいます。ありがとうございます。これからもよろしくお願いします。
- ・個人的な部分では満足のいく学校生活でしたがやはり外から見ると養護学校の存在自体知られていないことも多く、どんな学校なのかを知ってもらい卒業後の生活の場をひろげられたら…と
- ・学校でフッ素をしていただきありがたいです。歯ブラシもいただけて良いです。
- ・作業なども個別にいただき、集中できるように支援が行われていると思います。

ご要望

- ・一人一人の発達段階に合わせた支援はまだ難しいと思います。どうしても障がいの重い児童生徒に合わせる形が多いと思います。できることができなくなるのではないかと不安もあります。
- ・通常の学級運営はほぼ子どもに配慮した内容になっていると評価します。一方よねようまつり等のイベントは、他の生徒さんもいるので難しいとは思いますが、子どもに配慮された内容とは言い難い状況でした。今後、臨床心理士のアドバイスを受けて、改善策を考えていきますのでよろしくお願いします。
- ・えがおの保護者欄が小さい。もう少し大きくスペースをとってほしい…と、夫がつぶやいておりました。
- ・西置賜地区の児童生徒でも、親の選択で本校に通学できるようにしてほしい。
- ・意思表示やサインを見逃す場面があったと思われます。なかなか本人ばかりに付いてもいられないのは分かりますが…。大切に支援に取り組んでいたとは考え難いです。いつもお世話になっているにもかかわらず反論して申し訳ございません。
- ・担任が子供の気持ちや言葉を理解してくれないためトラブルが多い。なぜそのようなことをするのか？この障害の特徴などを分かっているらっしゃるとは思えない言動や行動に不安感しかありません。
- ・将来のために、社会参加、自立は学校で学ぶことは思いますが就労移行支援、A 型事業所に行けるような生徒は妥当だと思います。B 型、生活介護を利用しなければならない生徒は、できる生徒と同じようにはできない。個人個人が楽しく安心して過ごせるような活動を取り入れてもらいたい。学校で頑張った反動で、放課後デイサービスで落ち着かなくなることがある。重複障がいの子供たちは別の活動でも構わないので検討していただきたい。
- ・共同生活の中で、勝手な行動(違った行動)をとったときは、厳しく指導していただきたい。人格、主体性を尊重しすぎているようにも感じます。
- ・先生が近くにいても、目を離したすきにたまたま隣にいる友達に手をあげたりする子供がいる。

学校評議員の皆様の御意見から

本園の入所児童は、貴校やまなみ学園分教室及び貴校の分校である西置賜校による教育を受けています。児童生徒一人ひとりの障がい等に応じて、きめ細やかな指導に取り組んでいただいていることにお礼を申し上げます。また、同じ長井地域にある貴校の分校である長井校との交流事業なども実施していただいております。今後とも、「(8) 訪問教育、分教室、分校との連携と交流及び共同学習の充実」に努められますようお願い申し上げます。

さらに今年度は、分教室の授業で作成した花壇を学園祭等の機会を利用して地域住民の方々に披露されたり、学園職員を分教室のクリスマス行事に一人ずつ招待していただいたり、新たな取り組みにも挑戦されていることに敬意を表したいと思います。

また、やまなみ学園では、学園内に療育相談支援センター「おあしす」を設け、特に就学前の障がい児に対する療育相談・支援を行う拠点施設たるべく活動していますが、就学中の児童生徒については貴校の役割に期待することが大きく、「(9) 地域における特別支援教育のセンター的機能の更なる充実」について今後とも力を入れていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

一人一人の指導・支援はとても大事だし、米沢養護学校へ子どもを入学させた段階で一番期待することだと思います。ただこれが一番難しいことであるし、ご意見の中でも一番要望されている項目ですね。

先生方におかれましては、毎日の生活づくり、個別指導、授業準備、地域への情報発信と本当に身体がいくつあっても足りないことですが、もっと保護者を巻き込んでいったらいかがでしょうか。実は巻き込まれるのを待っている保護者はいっぱいいますよ。面談以外に話すチャンスを持たれるのはなかなか困難ですが連絡帳に学校での生活以外に質問してみるとか（例えば、ご飯のときにどんな行動をしたとか、夜起きて何か行動したとか）どうですか？ やってらっしゃる先生や保護者の中にも発信する人がいると思いますが、これをしてもらったことで、「自分の子のことをこの先生は考えてくれているんだ」と思われる方は実はたくさんいます。実践をしてくださっている先生はもっとしつこく。先生がんばれ!!

日頃より大変お世話になっております。

学校の様々な行事に参加させていただき、また当院へ訪問してくださっている先生方の児童生徒への対応や授業の様子を拝見させていただく中で、米沢養護学校の職員の皆様は児童生徒一人一人の障がい特性にしっかり向き合い、本人の個性を尊重した指導・支援をされており、とても刺激を受けております。同じ障がい児（者）に関わる者として今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

長いこと、教育の分野と福祉の分野は連携がより必要にもかかわらず、連携の取りにくい場面が多いと感じて過ごしてまいりました。なぜそうであるのか、多くの知識人により語られてきましたが、サポートセンターおきたまで勤務させていただくようになり、利用者への最前線においてはしっかり連携が取られていると思うようになりました。「何らかの意見を」と言われた際に最初に浮かんだ内容でした。日々の業務内において会議等、または電話等において綿密に調整していると実感します。

保護者からのご意見を拝読し、個対応ではない支援、集団支援の困難さを痛感しました。個別対応の重要性はそのとおりであり、その重要性は支援の根幹を成すものと認識しています。しかし、集団であるがゆえの伝わらないものの多さも併せて痛感しています。即座の解決方法はないにせよ、それぞれの立場での語りが重要と実感しています。

また、「厳しい指導」という言葉も印象に残りました。「共同生活の中で人格、主体性を尊重しすぎている」とのこと。福祉の現場に長く身を置くものとして、違和感を覚える内容でした。やはりそこも集団対応という枠の困難さだと認識しています。

平成30年度学校評価（教職員評価と保護者評価の比較）の結果から

お忙しい中、学校評価アンケートご記入ありがとうございました。

結果から見ますと昨年度に比べ良くなっている項目が更に増えておりました。これも皆様の御協力のおかげと感謝申し上げます。なお、項目によっては評価の低くなっている項目もありましたので、それらのことについては以下にお示しします。

1 保護者の評価で「2やや改善が必要」と「1改善が必要」の割合を足したものが昨年度より高かった項目

b 児童生徒のサインや意思表示を大切に支援してきましたか。〈6〉

〈対策〉

→ 保護者の皆様には学校での児童生徒の様子や変化についてこまめにお伝えするなどコミュニケーションに努めます。学習の目的をお伝えし、支援の手立てや身についた事を連絡帳等でお伝えします。

2 教職員の評価で2と1の割合を足したもので高かった項目

③ 社会参加と自立に向けたキャリア教育が推進されていると思いますか。〈12.2〉

〈対策〉

→ 進路部を中心に各学部の進路学習の取り組み内容の充実に努めています。

今後も卒業後の生活に関する情報収集とその発信に努め、社会に開かれた教育課程の実現を目指します。

3 働き方改革について

e 一部の教師に負担をかけることなく、チームなどの体制を整え、組織として課題に取り組むことができるようになりましたか。〈20.4〉

〈対策〉

→ 約8割の職員が業務改善を実感していますが、業務の偏りを感じている職員がまだおります。今後も校務分掌の可視化を行い偏りがあれば是正を進め、組織で仕事を進めるようにしていきます。

更に業務の効率化に向け職員よりアイデアを募り効率化に努めると共に、教職員が一致団結し児童生徒のために尽くしてまいります。

4 お願い

皆様が評価しやすいように、今後も関係機関との連携の状況や、地域とのふれあいの様子等をHPや「たより」等を使ってより積極的にお知らせしていきます。ぜひ、お時間のあるときにHPをご覧ください。

校長室だより、行事のお知らせ、報告等、随時HPを更新しています。

今年度から、お寄せいただいた御意見に対して迅速・適切に対応するため学校評価アンケートに記名をお願いしました。保護者の皆様との対話を大切にしていればより良い学校運営が進められればと考えます。御理解、御協力よろしくお願いいたします。

5 終わりに

自由記述においてお褒めの言葉をいただきました。逆に厳しいご示唆もいただきました。その中で障がいの幅に対応した教育についてのご意見が寄せられました。本校は一人一人に合わせたオーダーメイドの教育を掲げております。いただいたご意見をもとに「チーム米養」として全職員で児童生徒の指導・支援に知恵を絞りより良い学習活動の在り方を模索してまいります。そしてできることから改善していきます。なお、今回のアンケートにかかわらず必要があれば担任を通していつでもお話をお聞かせください。保護者の皆様と手を携えて児童生徒一人一人の社会参加と自立に向けた取り組みを進めていきます。今後とも御理解、御協力をお願いいたします。ありがとうございました。